

水田再編優良事例

1. 柿谷集団転作グループ（島根県安来市）

スノーデント2号を共同管理で集団転作し販売。

- 概要：8戸の農家が水田を提供し、そのうちの4戸が共同管理でスノーデント2号（1.8ha）を栽培し販売しており、集団転作によるとうもろこし狭域流通の数少ない事例として注目されています。麦と組合せた上手な利用例ともいえます。
- 栽培と流通の現状：表1のとおり。なお、収穫量は108tで、集落内に110a、集落外に70aが販売されています。既に2年にわたりけいぞくして実施されています。

表1

区分	月	53/4	5	6	7	8	9	10	11	12	54/1	2	3	4	
体系		飼料作物(スノーデント2号)						麦							
		播種						収穫							
播種量		3 K / 10a (54kg)													
収穫量		6,000 K / 10a (108ton)													
販売価格		32,000円 / 10a (576千円)													
作業人数		約25人役													
労働単価		男 4,000円 / 1日							女 3,300円 / 1日						

☆

☆

2. 大志田ディリーファーム（岩手県金ケ崎町大志田）

転作による酪農の進展

- 概要：12戸で組織され、集団転作飼料作物の機械利用による共同作業と有効利用、集団外の耕種農家との受委託による転作飼料作物の積極的活用などにより酪農の進展しているすぐれた事例としてよく知られています。
- 飼料作物転作と受委託の進展：表2のとおり、飼料作物への転作が年々進み、集団外の耕種農家からの受委託も増加し、これらが有効に活用されて、酪農の進展に結びついていることがよく分かります。青刈とうもろこしは、スノーデント、パイオニア等が使われており、今年は、パイオニア1号です。

表2

		45年	50	51	52	53	54※
		飼料作物転作面積					
牧草		3.4ha	16.4	16.4	16.4	18.9	27.2
青刈とうもろこし		1.0	1.0	2.0	3.0	4.0	2.4
計		4.4	17.4	18.4	19.4	22.9	29.6
		転作飼料作物の受委託戸数と面積					
戸数		0戸	0	4	15	23	—
面積		0ha	0	2.0	5.0	10.0	20.0
		酪農の進展					
乳牛頭数		90頭	120	180	200	226	—
内成牛		60	76	108	125	142	—
訳育成牛		30	44	72	75	84	—

※54年の値は推定値